

今月のテーマ  
宗教者懇話会

田上市長の  
心と手  
～自らの思いを皆さんに語るコラム～

グリーン、カーン…窓を開けると、お寺と教会の鐘の音が重なるようにして部屋の中に飛び込んできます。

南山手では、さるくガイドさんが参加者を、祈りの三角ゾーンに案内します。そこは神社とお寺と教会が同時に見える場所。「ここで願い事をすると、三つのうちのどれかが叶えてくれる…かもしれませんと参加者を笑わせます。

どちらにも、お寺や神社や教会が、暮らしの中に溶け込んでいる長崎らしい光景です。



大浦天主堂のそばには、妙行寺、大浦諏訪神社が立っています

長崎は江戸時代とその後、宗教同士がせめぎあい、排除しあつた場所でした。お寺が破壊されたり、逆に教会が焼かれたりした歴史を持つているまちなのです。世界遺産を目指している教会群も、そんな歴史の中から生まれてきました。

その長崎に今、いろいろな宗教の皆さんが一緒になって活動している団体があります。長

崎県宗教者懇話会といえます。

懇話会の野下千年会長が自ら作詞作曲した宗教者懇話会のテーマソングがあります。「長崎の祈り」といいます。

教会と  
寺と神社の音和して  
清らに明ける 長崎の朝  
平和を祈る 長崎の街  
平和を告げる 長崎の空

懇話会のメンバーは、日ごろからさまざまな活動を一緒にしています。3月には東日本大震災の犠牲者と被災者のために祈る式典も開きました。

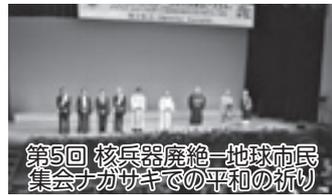
その代表的な活動の一つが原爆殉難者慰霊祭。もう40年以上続いています。毎年8月8日の夜、原爆落下中心地に集まり、原爆犠牲者の慰霊と平和のためにともに祈りを捧げるのです。

数年前、懇話会の皆さんがトルコに出かけました。そして、イスラム教の礼拝堂であるモスクに、それぞれの装束で入っていききました。違う宗教の人たちが一緒に活動していることに驚いたイスラム教の人

たちは、翌年、長崎を訪ねてきました。そして、一緒に8月8日の夜に平和のために祈りをしました。

人間は宗教の違いのために戦争をすることがあります。だからこそ

違う宗教の皆さんがともに活動する姿は、そのまま強い平和のメッセージになります。



第5回 核兵器廃絶一地球市民集会ナカサキでの平和の祈り

同時に、宗教者懇話会の活動は、とても長崎らしいと思います。互いの違いを受け入れ、同じところを大切にしようというのには、長崎の根底に流れる文化だと思えます。それは「平和の文化」といつてもいいのではないのでしょうか。

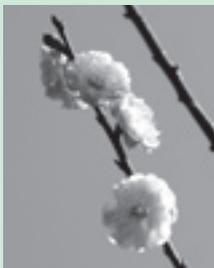
そういうえば、宗教者懇話会のメンバーの中には「高校はミッション系でした」という住職さんが何人かおられます。同級生に神父さんがいるそうです。これも長崎らしいな、と思います。やっぱり長崎は平和をつくるまちだと思います。



※過去の様子



桜を見ながら、思い思いに過ごすことができます



桜の見ごろは4月上旬まで



散歩にもおすすめ♪

ながさき  
スチ旅行  
桜が咲き乱れる  
さくらりの里  
運動公園

桜が咲き乱れる  
さくらりの里  
運動公園

市中心部からバスで約50分、さくらりの里運動公園口「バス停」を降りて徒歩5分。

公園内には、芝生広場やテニスコート、遊具などがあり、大人から子どもまで楽しめます。

さくらりの里には、名前の由来でもある桜の木がなんと8000本も！公園は閑静な住宅地のすぐそばにあり、普段はとっても静かですが、桜の時期には、咲き乱れる桜を求めてたくさんの方が訪れるとおきの桜スポット。

また、芝生広場を見下ろせる小高い丘があるので散策しながら登ってみると、東屋から桜を見下ろすこともできます。さまざま角度から花見ができるのもここならではのです。

春の訪れを感じて、新たな気持ちで新年度を迎えてみてはいかがでしょうか？

特集

市政

長崎市民

プレゼント

生活情報

健康

子育て

被爆者援護

福祉

講演・講座

もよおし

おしらせ

募集